

(参考様式2)

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 7 年 12 月 12 日

計画の名称	7. 通学路要対策箇所への安全確保による安全・安心な道路環境の確保（防災・安全）										重点計画の該当		○								
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）					交付団体	横須賀市、藤沢市、三浦市、秦野市、伊勢原市、座間市、綾瀬市、大磯町、中井町、厚木市、逗子市														
計画の目標	通学路の合同点検における要対策箇所において、歩道拡幅等の安全対策を行い、危険箇所の解消を図る。																				
計画の成果目標（アウトカム指標）																					
通学路の合同点検における対策完了箇所をH25当初から142箇所増加する。																					
アウトカム指標の定義及び算定式																					
$\text{（通学路対策完了箇所数）} = \text{（H24年度末での対策完了箇所数）} + \text{（H25年度末での対策完了箇所数）} + \text{（H26年度末での対策完了箇所数）} + \text{（H27年度末での対策完了箇所数）} + \text{（H28年度末での対策完了箇所数）}$										アウトカム指標の現況値及び目標値		備考									
										当初現況値 (H24当初)	中間目標値			最終目標値 (H28末)							
										0箇所				142箇所							
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,808 百万円	A	2,808 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C+D)$	0.0%									
事後評価（中間評価）																					
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																					
事後評価（中間評価）の実施体制										事後評価（中間評価）の実施時期											
事業主体において事業毎に事後評価を実施し、神奈川県で取りまとめ										令和2年度											
										公表の方法											
										各事業主体のホームページに掲載											
1. 交付対象事業の進捗状況																					
交付対象事業																					
A 地方道路整備事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	道路種別	省路工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考		
												H24	H25	H26	H27	H28					
7-A1	道路	一般	横須賀市	直接		市町村道	交安	0.55	市道766号線外	路側帯カラー舗装	横須賀市						84				
7-A2	道路	一般	藤沢市	直接		市町村道	交安	0.55	湘南台297号線	歩道整備工事 L=360m	藤沢市						107				
7-A3	道路	一般	三浦市	直接		市町村道	交安	0.55	市道426号線外1路線	交差点改良 L=213m	三浦市						235				
7-A4	道路	一般	秦野市	直接		市町村道	交安	0.55	市道698号線外4路線	路側帯カラー舗装	秦野市						13				
7-A5	道路	一般	秦野市	直接		市町村道	交安	0.55	市道51・52号線外1路線	歩道整備工事 L=88m	秦野市						17				
7-A6	道路	一般	伊勢原市	直接		市町村道	交安	0.55	市道56号線外1路線	歩道整備工事 L=230m	伊勢原市						115				
7-A7	道路	一般	伊勢原市	直接		市町村道	交安	0.55	市道59号線	歩道整備工事 L=650m	伊勢原市						335				
7-A8	道路	一般	伊勢原市	直接		市町村道	交安	0.55	市道3号線	歩道整備工事 L=95m	伊勢原市						48				
7-A9	道路	一般	伊勢原市	直接		市町村道	交安	0.55	市道60号線外4路線	路側帯カラー舗装	伊勢原市						48				
7-A10	道路	一般	座間市	直接		市町村道	交安	0.55	市道相模が丘53号線外	路側帯カラー舗装	座間市						5				
7-A11	道路	一般	綾瀬市	直接		市町村道	交安	0.55	市道208号線外1路線	安全施設設置工事	綾瀬市						6				
7-A12	道路	一般	大磯町	直接		市町村道	交安	0.55	町道幹線21号線他1路線	防護柵設置・路側帯カラー舗装 L=1300m	大磯町						16				
7-A13	道路	一般	中井町	直接		市町村道	交安	0.55	町道久所幹線ほか	路側帯カラー舗装 L=790	中井町						19				
7-A14	道路	一般	厚木市	直接		市町村道	交安	0.55	市道G-392号線外1路線	路面カラー化舗装	厚木市						1				
7-A15	道路	一般	秦野市	直接		市町村道	交安	0.55	市道813号線外1路線	路側帯カラー舗装	秦野市						5				
7-A16	道路	一般	伊勢原市	直接		市町村道	交安	0.55	市道2号線	路側帯カラー舗装	伊勢原市						15				
7-A17	道路	一般	伊勢原市	直接		市町村道	交安	0.55	市道58号線	路側帯カラー舗装	伊勢原市						5				
7-A18	道路	一般	伊勢原市	直接		市町村道	交安	0.55	市道1071号線	路側帯カラー舗装	伊勢原市						10				
7-A19	道路	一般	逗子市	直接		市町村道	交安	0.55	逗子市道前開5号神武寺トンネル拡幅工事	トンネル拡幅工事	逗子市						1,203				
7-A20	道路	一般	三浦市	直接		市町村道	交安	0.55	市道1069号線	交差点カラー舗装	三浦市						3				
7-A21	道路	一般	三浦市	直接		市町村道	交安	0.55	市道1069号線外1路線	路側帯カラー舗装	三浦市						18				
7-A22	道路	一般	三浦市	直接		市町村道	交安	0.55	市道923-1号線	法面保護	三浦市						14				
7-A23	道路	一般	秦野市	直接		市町村道	交安	0.55	市道51号線ほか4路線	路側帯カラー舗装	秦野市						31				
7-A24	道路	一般	秦野市	直接		市町村道	交安	0.55	市道6号線	歩道整備工事 L=70m	秦野市						52				
7-A25	道路	一般	三浦市	直接		市町村道	交安	0.55	市道1号線ほか1路線	路側帯カラー舗装	三浦市						6				
7-A26	道路	一般	伊勢原市	直接		市町村道	交安	0.55	市道4号線	歩道整備工事 L=700m	伊勢原市						323		1-A22より移行		
7-A27	道路	一般	伊勢原市	直接		市町村道	交安	0.55	市道615号線	路側帯カラー舗装	伊勢原市						29				
7-A28	道路	一般	三浦市	直接		市町村道	交安	0.55	市道1292号線ほか2路線	路側帯カラー舗装・交差点カラー舗装	三浦市						7				
7-A29	道路	一般	座間市	直接		市町村道	交安	0.55	市道50号線ほか28路線	路側帯カラー舗装	座間市						35				
7-A30	道路	一般	三浦市	直接		市町村道	交安	0.55	市道29号線ほか2路線	路側帯カラー舗装	三浦市						5		新規		
												合計					2,808				
B 関連社会資本整備事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省路工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考			
											H24	H25	H26	H27	H28						
												合計					0				
番号 一体系的に実施することにより期待される効果																		備考			
C 効果促進事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省路工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考			
											H24	H25	H26	H27	H28						
												合計					0				
番号 一体系的に実施することにより期待される効果																		備考			
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。																					
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																					
Ⅰ 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況														・通学路の歩道整備や路側帯のカラー舗装（グリーンベルト）等を実施し、歩行空間が確保され、歩行者の安全性が向上した。							
Ⅱ 定量的指標の達成状況														通学路の合同点検における対策完了箇所をH25当初から142箇所増加する。	最終目標値	142 箇所	目標値と実績値に差が出た要因	・当初予定していた路線が通学路ではなくなったため。 ・地権者交渉が難航したため。			
														最終実績値	140 箇所						
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）																					
3. 特記事項（今後の方針等）																					
・引き続き、継続して当該計画を実施し、通学路の合同点検における要対策箇所において、歩道拡幅等の安全対策を行い、危険箇所の解消を図る。																					